

# 1.「くり」とは



学名: Castanea spp.

英語: chestnuts

仏語: marron

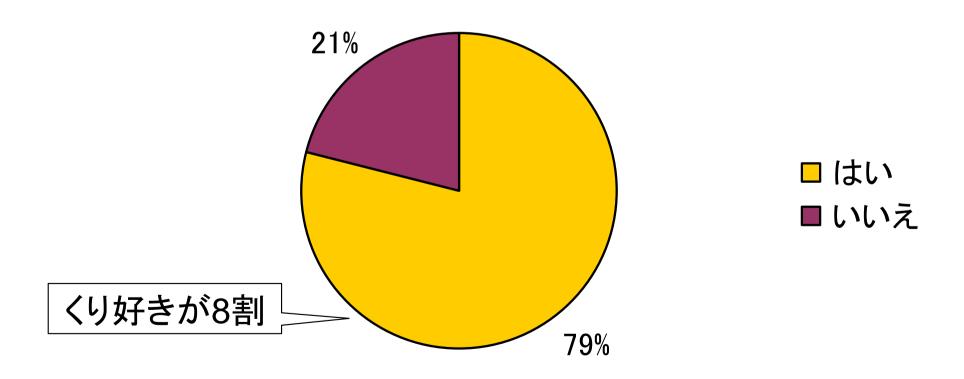
中語:栗子(リーズー)

くり(栗)はブナ科クリ属に属し、 世界で12種が存在しているが 日本ぐり、中国ぐり、西洋ぐり、 アメリカぐりが主である。 日本ぐりの主要品種は丹波、 銀寄、筑波などである。 利用の歴史は古く、縄文時代 の遺跡からも出土している。 ショ糖やブドウ糖を多く含むた め甘味が強い。

### 2.「くり」のイメージ調査

本学科1年生85名にアンケート調査を実施した。

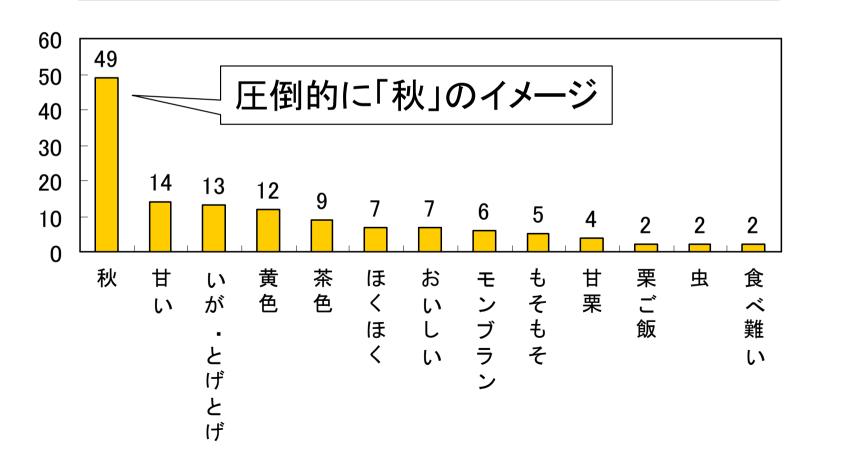
「くり」は好きですか



#### 2.「くり」のイメージ調査

本学科1年生85名にアンケート調査を実施した。

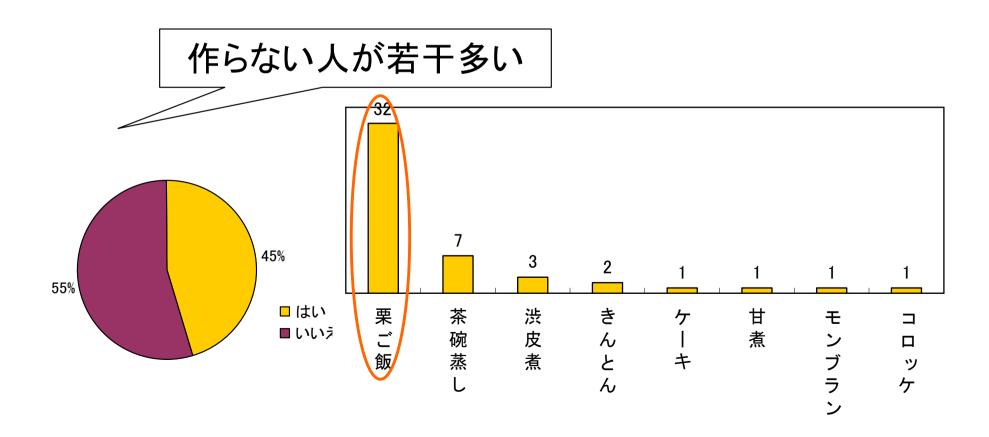
「くり」に対するイメージを教えてください



#### 2. 「くり」のイメージ調査

本学科1年生85名にアンケート調査を実施した。

くりの季節に「くり料理」を作りますか

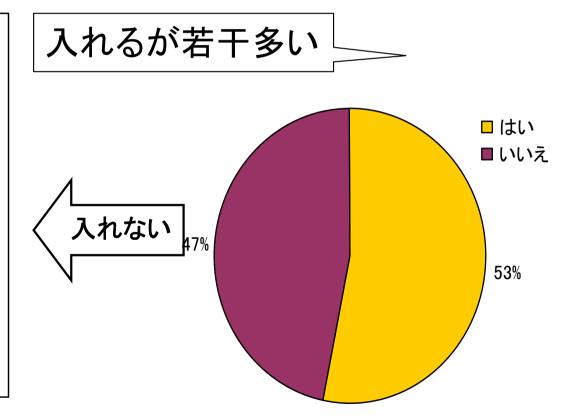


### 2.「くり」のイメージ調査

本学科1年生85名にアンケート調査を実施した。

茶碗蒸しに「くり」を入れますか

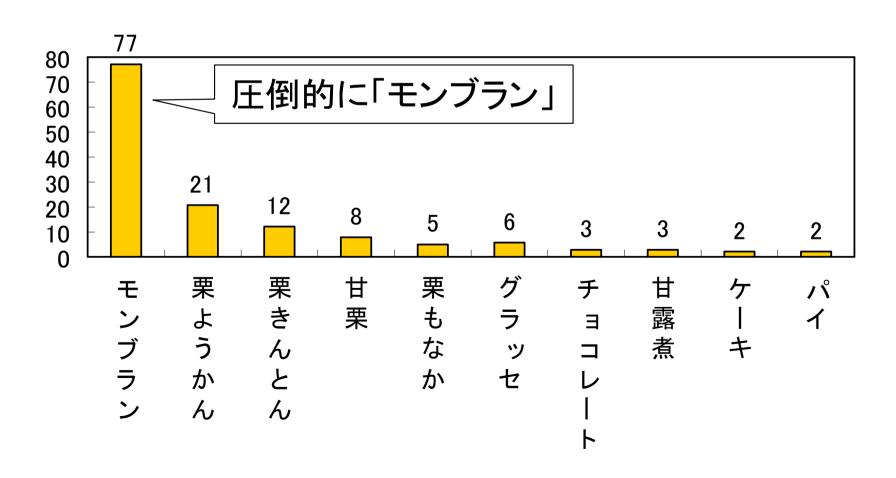
| 秋田県出身  | 40.7% |
|--------|-------|
| 秋田県外出身 | 58.3% |
| 中央地区   | 41.7% |
| 県北地区   | 33.3% |
| 県南地区   | 41.2% |
| 岩手県    | 50.0% |
| 山形県    | 77.8% |
| 宮城県    | 50.0% |



#### 2.「くり」のイメージ調査

本学科1年生85名にアンケート調査を実施した。

「くりの菓子」で知っているものを教えてください



### 2. 「くり」のイメージ調査

#### くまとめ>

- ・「くり」の嗜好性は非常に高いが、作る料理や 知っている菓子には偏りが見られる。
- ・「くり」は「秋」のイメージが強く、使用することで「秋らしさ」を演出できる可能性が高い。

本学科東口ゼミ所属の2年生12名に官能評価を実施 した。

Aのババロアを基準とした場合、B~Fのババロアの「秋らしさ」はどのあたりにありますか?



A:りんご



B:なし



C:かき



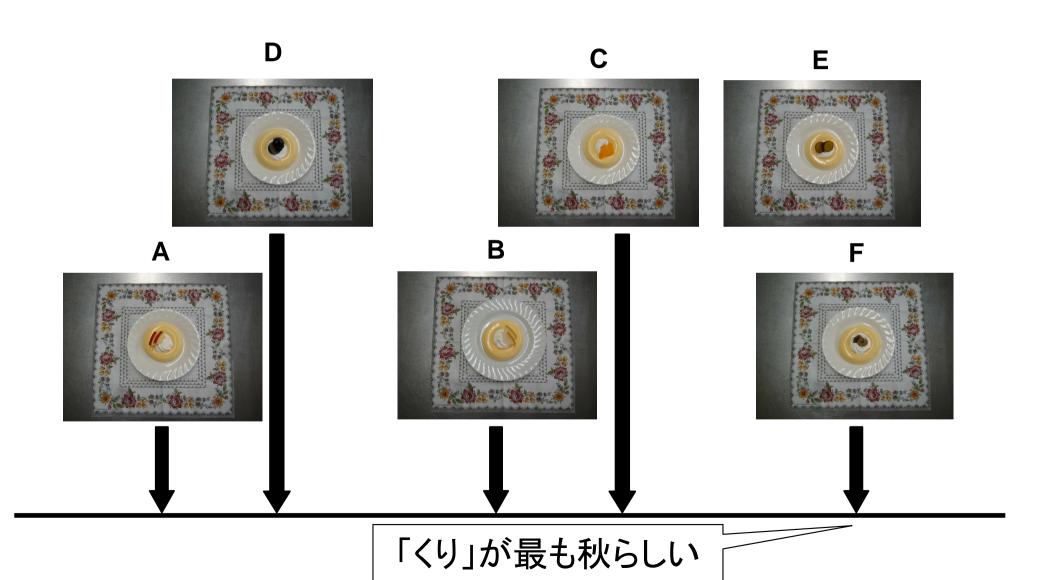
D:ぶどう



E:さつまいも



F:くり



#### くまとめ>

- •「くり」は他の秋が旬の食材、とりわけ果物よりも「秋らしさ」を強く感じさせることができる。
- ・「くり」を料理に使用することで、「秋らしさ」を演出することが可能である。

10月下旬に秋田市の販売店で「くり」の菓子55品を購入し、本学 科東ロゼミ所属の2年生11名に官能評価を実施した。

「おいしさ」「高級感」「親しみやすさ」「独創性」「秋らしさ」は何点 ですか?

おいしさ: -3 とてもおいしくない 高級感 : -3 とても感じない 親しみやすさ -2 感じない -2 おいしくない -1 ややおいしくない 独創性 -1 やや感じない 0 普通 秋らしさ 0 普通 1 やや感じる 1 ややおいしい 2 感じる 2 おいしい 3 とてもおいしい 3 とても感じる

「秋らしさ」を何から感じましたか?

色

形

味におい

商品名

包装

総合評価

>点







































































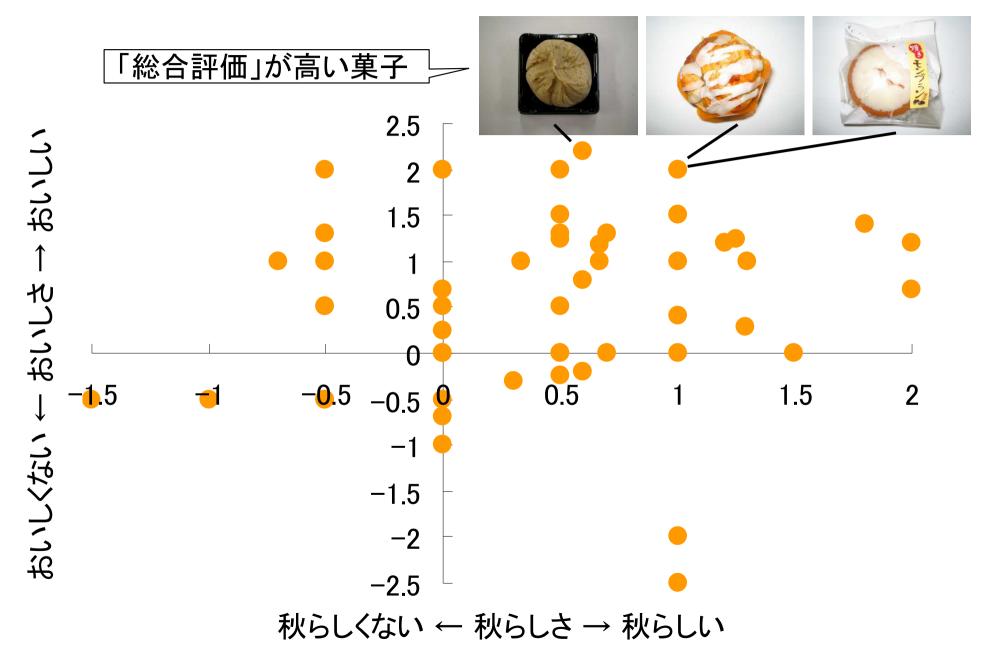








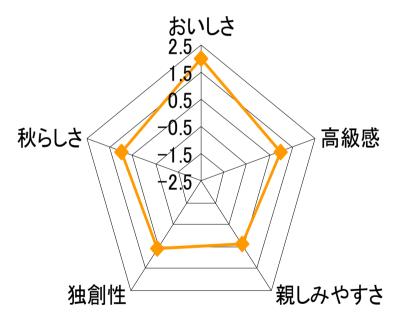




最も「総合評価」が高かったお菓子

**<マロンパイ>** 



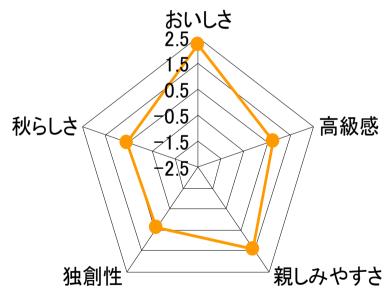


すべての項目のバランスが良い

2番目に「総合評価」が高かったお菓子

くくりきんとん>



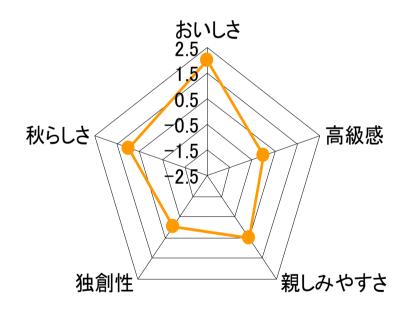


とにかくおいしく親しみやすい

3番目に「総合評価」が高かったお菓子

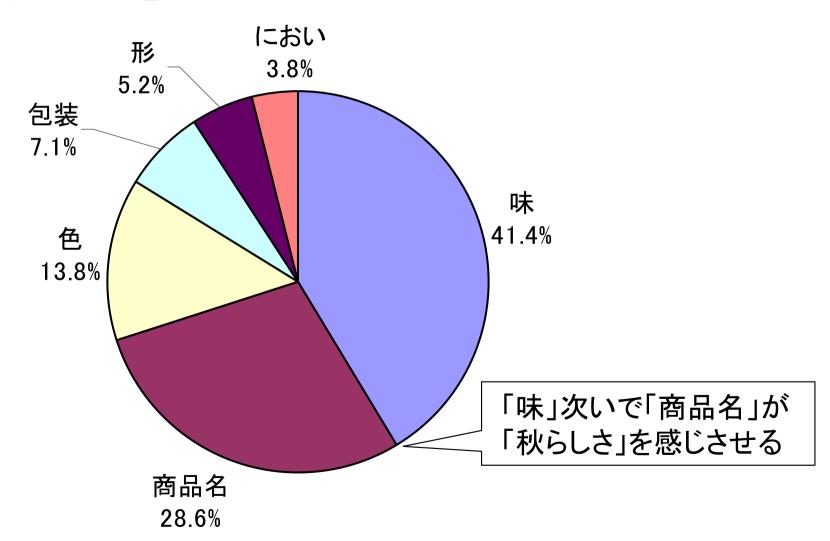
#### く焼きモンブラン>





とにかくおいしい

「秋らしさ」を感じさせる要因とその割合



#### くまとめ>

- •「秋らしさ」と「おいしさ」は相関しない。
- •「秋らしさ」は「総合評価」に影響しない。
- 「秋らしさ」には「味」次いで「商品名」が強く関与しており、「色」の関与はそれらよりも弱い。

#### 5. 終わりに

「くり」は「秋らしさ」を演出するのに最適の食材であるが、「秋らしさ」が感じられたとしても、「味」が良くないと評価は低くなる。

つまり、「くり」を使用したとしても、おいしくないと料理の 評価は上がらない。

「くり」を使用して「秋らしさ」を演出したからといって安心せず、「味」にもしっかり気を配る必要がある。